

# CITY X UNIVERSITY

大阪市立大学広報  
2008.4.1 Vol.2

Special —特集—  
スキルスシミュレーションセンター

Professionals 教員紹介 — 経済学研究科 准教授 長尾 謙吉

Sagesse 教員に訊いてみよう!

Books 市大教員の本

Discovery 意外に知らない市大の姿

Clubs クラブ・サークル

Road to OCU 入試情報

Infomation お知らせ

The Office of Dean 学部長室から

Alumni 卒業生から



— 卒業生から —

池田 桂鳳

(本名 脩)

書家

文学部 昭和35年 卒

書道の練習方法は古典の臨書。古い文字を懸命に写すことにつきます。筆の使い方、字の造形をしっかりと真似るのです。学ぶとは、真似ること。真似て先人の持っているものを盗むことだと言えます。そういった意味で、芸事では師匠選びが一番大切です。展覧会で作品を見比べて、自分の師匠となるべき人を探す方も多いようです。

しかし、作品を比べてどちらが芸術的価値が高いか、なんて判断できません。好き、と感じたほうを選べばいいのです。家の庭の木の小枝にみかんの切れ端をさしておく、目じろの番がやってきて啄みます。先日正月のしめなわの燈を同じようにさしておきましたが、啄んだようがありません。「渋柿と烏も知って通りけり」という一茶の句のように、味覚、「何が好きか」が実にはっきりしています。

自分が「好き」と感じたものを、繰り返し繰り返し学ぶ。この基本は変わりません。

Medical

現在実施している講習会、講義一覧

2008年1月現在、スキルスシミュレーションセンターでは16の講習会・講義を行っています。

2次救命処置 (ICLS) 講習会	心音シミュレーター講習会	AED講習会
小児蘇生手技講習会	消化器内視鏡シミュレーター講習会:下部	呼吸音シミュレーター講習会
中心静脈穿刺手技講習会	消化器内視鏡シミュレーター講習会:上部	腹部超音波シミュレーター講習会
外科基本手技講習会	女性診察シミュレーター講習会	採血シミュレーター講習会
腰椎穿刺手技講習会	心電図検査手技+心電図読解講習会	
模擬患者診察講習会	心臓超音波講習会	

医療現場の臨場感を味わい、技術と意識を高める  
スキルスシミュレーションセンター

平成19年3月に開設した「大阪市立大学医学部スキルスシミュレーションセンター(SSC)」は、各種シミュレーション器材を使って、医療現場で役立つさまざまな技術をトレーニングできる施設です。管理人が常駐し、いつでも器材を利用できる態勢が整っており、医療従事者や医学部の学生、病院職員を対象とした講習会を開催しています。

今回は、開設から約1年経ったSSCの現状と今後の展開について、総合診療センターの首藤先生にお聞きしました。

医療人としての自覚を  
育むシミュレーション

シミュレーション教育は、さまざまな場面で一般的に行われています。例えば、自動車の運転免許を取得する際にも、ドライビングシミュレーターを用いて運転の模擬体験をしますね。また、飛行機の機長なども、日頃からあらゆる想定のもとにシミュレーションを行っています。これらの行為には危険がともなうため、シミュレーションが必要とされているのです。

医療現場で日常的に行われている注射や縫合、内視鏡検査といった手技を必要とする医療行為にも、必然的に何らかのリスクがともないます。しかし、これまでは採血ですら現場に出て初めて体験するという状態でした。それが近年は国民の医療への関心が高まっていることもあり、医療現場でもシミュレーション教育の重要性が認知されるようになってきたのです。

そうした社会の要請に応え、平成19年3月に「大阪市立大学医学部スキルスシミュレーションセンター」(以下、SSC)を開設しました。医療機関に属するすべての

ジすることができません。そして教える側にとっても、自分自身の技術を再確認したり、自信をつけたりする場となるのです。また、AED講習会のインストラクターは、学生に任せています。始める前は賛否両論ありましたが、やってみると意欲の高い学生たちがリーダーシップをとり、活気ある講習会となっています。

シミュレーションにより、格段に技術が向上するわけではありませんが、現場の臨場感を味わえるだけでなく、医療従事者としての意識を高めるなど、さまざまな効果があります。ただし、将来の医師を育てるためには、本当の現場も大切。患者さんの中には、熟練の先生にかかりたいという思いもあるでしょうが、子どもや孫の代を診ていくのは、今の若い医師たちです。その医師たちが成長するためには、患者さんの協力も欠かせません。シミュレーション教育を受けた医師が、先輩医師の見守る中で現場を経験していくことについて、ご理解をいただきたいと考えています。

大学の枠を超えて、  
より多くの人に開放

SSCの利用者は、平成19年12月までの9ヶ月間で約6,000名になりました。医学部生や病院職員のみならず、大学の生活科学部食品栄養科学科の学生たちも受講するなど、利用対象者を徐々に拡大。また、

職員には、プロの医療人であるという自覚のもとで生涯にわたる自己研鑽の必要があると考え、医師・研修医・看護師などの医療従事者や医学部の学生のみならず、事務職員等の病院関係者に対しても講習会を開き、危機管理意識を高めています。

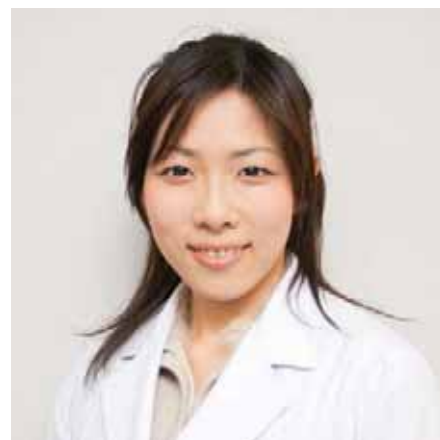
教える人も教わる人も  
共に成長できる場

SSCの講義・講習会では、シミュレーターを使用して本番さながらの緊張感を持って取り組んでいます。本番と同じということは、学生や研修医であっても一人に任せるといふこと。最初のうちは、一人で取り組むことに不安を感じる人もいますが、現場では自分でやるしかありません。失敗することもありますが、シミュレーターを使って失敗することで自分の苦手なところや課題点に気づき、改善していくことができます。

講習会でインストラクターを務めるのは、主に若手の医師たち。身近な先輩が教えることで、教わる人は数年後の自分をイメージ

医師と看護師が合同で行う講習会など、技術の向上に加えて、横の連携を強めるための取組みもしています。

これからは、一時仕事を離れていた女性医師・看護師への再教育にも利用するほか、地域の医療機関の医療従事者、中高生、近隣住民、大阪市職員への講習を視野に、内容の充実を図ってまいります。



■ 小澤さんプロフィール

大阪市立大学医学部  
スキルスシミュレーションセンター 管理人 小澤 朋子  
臨床検査技師

管理人としてSSCに常駐する小澤さんは、スケジュール管理やシミュレーターのメンテナンスをするほか、学生や研修医たちの相談相手も務めている。SSCが活性化され、その本来の意義を果たすためには、管理人の存在が欠かせない。



■ 首藤先生プロフィール

大阪市立大学大学院医学研究科  
総合診療センター/卒後医学教育学 准教授 首藤 太一  
医学博士

外科医として約2,000例の手術に参加してきた首藤先生は、後輩の育成にも熱心に取り組んでおり、平成17年からは総合診療センターで卒後医学教育学を担当。各地のシミュレーション施設を視察し、約1年半の準備期間を経てSSCを開設した。

通報とAEDの用意を依頼したら、気道を確保して呼吸を確認。普段通りの呼吸をしていない場合は、心臓マッサージを行います。予想以上の力が必要で、しばらく続けているとじんわり汗ばんできました。夢中になって続けていると、インストラクターから「大丈夫ですよ。もうちょっと脇腹を見るようにしてくださいね」とアドバイスが。このアドバイスで、心臓マッサージのコツがつかめたような気がしました。



電気ショックのボタンを押そうとすると、後ろで見ていた首藤先生が飛び入り参加。「何や！人が倒れてるやんか！大丈夫か？」と言いながら傷病者に触れようとしています。何がなんだか分からずにいると、もう一人の受講者が「電気ショックをするので離れてください」と冷静に対応。現場では

先ほど依頼した人がAEDを持ってきてくれました。AEDの電源を入れると、使い方が音声で流れます。その指示に従い、電極パッドを貼ってコネクタを接続すると心電図波形の解析が始まります。「電気ショックが必要です」とアナウンスされたら、誰も傷病者に触れていないことを確認し、電気ショックを実行。

さまざまなが起こりうるので、状況に応じた判断もしていかなければなりません。ショックが終わると、再び心臓マッサージを開始。傷病者が意識を取り戻すか専門チームに引き継ぐまでは続けなければいけないため、疲れる前に周りの人と交代しながら続けていきます。協力しながら救命活動をするので、受講者同士の連帯感も生まれてきました。

最後は一連の流れを復習。アドバイスしてもらったことを思い出しながら、緊張感を持って取り組みました。インストラクターが、できている部分を褒めながら一つ一つアドバイスしてくれるので、とても分かりやすい講習会でした。

AEDがどれだけたくさん設置されていて、それを迅速に使う人がいなければ、助かる命も助かりません。受講前は、AEDが必要なシーンに遭遇してもパニックに陥ってしまうと思っていましたが、今回の講習会を受けたことで、万一の場合にも対応できるという自信ができました。こ



うした講習会が、広く市民の方に開放される日が楽しみです。

# 医学生インストラクターによる AED講習会を体験してきました。

平成16年に一般市民の自動体外式除細動器(AED)使用が認められ、現在では駅や病院、公共施設など、さまざまところでAEDを目にするようになりました。身近な存在となったAEDですが、その使い方を知っていますか？SSCでは、大阪市立大学医学部のサークル「大阪市立大学ライフサポートクラブ(LSC)」のメンバーたちがインストラクターとなり、AEDの使い方などを教えてくれます。病院関係者からも人気があり、リピーターもいるというAED講習会。ここでは、その模様を紹介します。

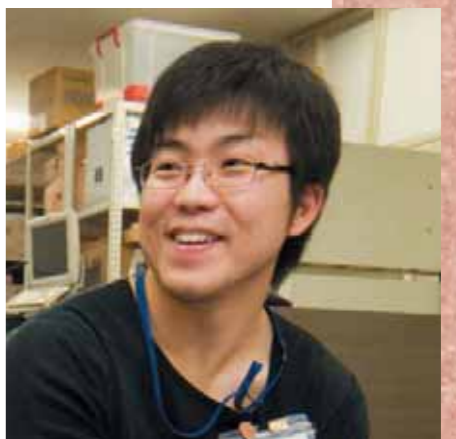


まずはビデオを使って、AEDについての説明。AEDの使用が1分遅れることに、生存率が約10%低下してしまいますが、迅速な心臓マッサージとAEDを行うことで、生存率の低下を防ぐことができます。ということは、正確に迅速な対応ができれば、一般市民であっても傷病者の命を救えるのです。AEDの重要性に改めて気づかされました。

まずは傷病者を認識してから、近くの人を呼び、119番への通報とAEDの用意を依頼するまでの流れ。受講生がそれぞれ発見者と通行人の役になってやってみます。最初は、シミュレーターに向かって「大丈夫ですか？」と声を掛けることに照れてしまいましたが、説明された手順を正しくやろうと思うと、照れている間なんてありません。

心肺停止傷病者の救命には、「迅速な通報→迅速な心肺蘇生→迅速な除細動→迅速な二次救命措置」という救命の連鎖が大切だとされていますが、この講習会では二次救命措置以外の3つを習得することができ

説明の後は、いよいよ実践です。受講生2名と学生インストラクター1・2名で1体のシミュレーターを使い、一つ一つの手順を確認。ほぼマンツーマンで指導してくれるので、細かいアドバイスがもらえ、ちょっとした疑問もその場で解決できます。



■ 学生インストラクタープロフィール

ライフサポートクラブ たなか かんた  
前代表 医学部6年 田中 寛大

インストラクターをしてくれた田中さんは、救急車が来るまで何もしていなかったために助からなかったケースを目にしたことで市民の意識改革の必要性を感じ、ライフサポートクラブを設立。ビデオを使ったAED講習の方法論を確立した。

Economics



■長尾先生プロフィール

経済学研究科 准教授 **長尾 謙吉**  
 大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。カナダ・ヨーク大学客員研究員、大阪市立大学経済研究所講師・助教授を経て、2003年より大阪市立大学大学院経済学研究科助教授。  
 専門：経済地理学、都市・地域経済論



卒業生からのメッセージ

長尾先生が大切にしているのは、とにかく自分自身の目で、耳で、肌で感じて学ぶ事です。

私が先生のもとで学んだ2年間は、見学会で様々な施設を訪れたり、中小企業調査に同行させていただいたり、韓国での学生討論会に参加したりと、キャンパス内にじっとしている暇などないといった感じでした。

そのおかげで週1コマのゼミ学習以上に価値のある時間を過ごす事が出来、たくさんのことを経験し学び取る事が出来たと感じています。社会人となって働く今、私はこの経験の大きさを実感しています。

成澤裕美（2007年経済学部卒業 泉州銀行勤務）



現代のグローバルな経済活動について、  
 ローカルな都市・地域を踏まえて読み解く

経済学研究科 准教授 長尾 謙吉



グローバル化にも情報化にも  
 ローカルな要素が絡んでいる

グローバル化の時代に、長尾先生は経済地理学を研究している。

「グローバル化が進むにつれて『地理の終焉』と言われるようになりました。グローバル化とは地球規模でさまざまなことが連動し、人・モノ・カネが動くことです。必ずしも世界が標準化されることではありません。例えば、世界各国で展開しているファーストフード店でも、出店する国や地域によって提供するものを変えています。『ところ変われば品変わる』という諺が示すように、経済活動と地理には深い関係があります。グローバルに活躍する現代企業にとっても、ローカルな要素は消え去っていないのです」

経済学の理論は、売り手も買い手も交換するものも全て同じ場所にあり、同じ情報を共有している「一点世界」から始まる。「一点世界で考えると、シンプルに洗練された理論を構築できます。実際にはお互いに離れていたり、土地利用の競合・制限や土地に固着さざるをえないインフラの問題があったりします。また労働市場も、働き方や慣習など、ローカルな生活と切り離

視した教育を目指しています。現場教育の面では、卒業生の協力も得て、通常では見ることのできない建設途上のならばパークスやヤンマー尼崎工場など、さまざまな施設を見学しています。ゼミ卒業生の多くが、地域経済と関わり深い仕事に就いており、後輩たちの面倒を見てくれているのです」

このような教育の中で育ったゼミ生がインターネット上の『日本政策学生会議』に発表した論文は、国会議員や地方議会議員からも反響を得ており、学生たちへの良



すことができず。このように、人間の社会経済活動は土地に絡んで行われているため、地理とその場所に刻まれた歴史という要素を取り入れて経済学を研究しています」

また、長尾先生は都市経済についても関心を寄せている。

「インターネットなど情報通信手段の発達により、『距離の死』ということも言われています。しかし、相手を信頼して同じことを考え、同じ目標を立てるためには、対面による意思疎通が欠かせません。多くの人が集まり、多様性や専門性に富んだ大都市の経済的意義は、簡単には消滅しないでしょう。こうした2つの研究を通して、一点世界から始まった経済学に空間を組み込み、現代のグローバルな経済活動をローカルな都市・地域を踏まえて読み解いていきたいと考えています」

理論と現実を重視した教育と  
 豊富な国際交流を展開

長尾先生は、ユニークな取り組みや国際的な視野に立った教育を行っている。

「経済地理学では現地調査が欠かせませんが、ただ行くだけでは意味がありません。自分なりのストーリーを立てたり、どういう視点で切り込むかを考えるためには、理論を身につける必要があります。そこで私は、机上の勉強と現場での対話、両方を重

い刺激となっている。

その他、国際的な教育として、海外の大学教員による経済地理学のゲスト講義や、2000年から続く韓国の全南国立大学との学生交流などにも携わり、学生が英語で海外事情を学び、英語による論文や発表に取り組みよう促してきた。こうした教育が評価され、長尾先生は2007年度の学友会・優秀教育賞を受賞した。OB・OGも含め、ゼミ生たちの活躍は、長尾先生の熱意によるところも大きいようだ。

荒井耕 著  
『医療原価計算—先駆的な英米医療界からの示唆』



中央経済社 2007年2月 定価 本体3300円+税  
☆平成19年度 日本会計研究学会 太田黒澤賞受賞

さらには将来へ向けた新たな原価計算の模索状況を、各時代の文献及び医療関係者へのインタビュー調査を基に丹念に明らかにしている。その上で、日本の状況と比較しつつ日本医療界への示唆を得るとともに、医療原価計算の体系と実施決定要因を

明らかにしている。従来、医療分野の管理会計研究は皆無に近かったが、本書はその一領域である医療原価計算研究に先鞭をつけた。また医療原価計算の体系を示し、実施レベルや基本思想及び志向性を異にする多様な原価計算の存在を明らかにし、医療分野の原価計算研究を今後試みる研究者のための研究枠組みを提供した。さらに医療分野を対象として原価計算の実施決定要因の考察枠組みを明確にし、今後の他産業における原価計算実施決定要因の考察枠組みを提示した。

弘文堂 2007年3月  
定価 本体2500円+税



法学研究科准教授 金田薫子 共著  
『基礎から学べる会社法』

朝倉書店 2007年10月  
定価 本体3500円+税



理学研究科教授 平澤栄次 著  
『植物の栄養30講』

ミネルヴァ書房 2007年4月  
定価 本体3500円+税



経営学研究科教授 西村弘 著  
『脱クルマ社会の交通政策—移動の自由から交通の自由へ—』

## Books

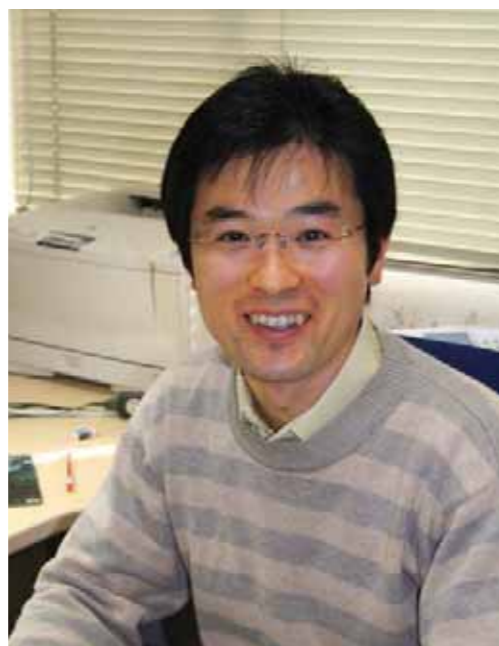
# 市大教員の本を紹介します

### 『医療原価計算』

—先駆的な英米医療界からの示唆—

経営学研究科准教授

荒井 耕



医療財政の悪化と社会の成熟化を背景として、医療の質・安全を確保しつつ効率的な医療の提供が求められてきている日本医療界において、現在、原価計算に対する強い関心と先駆的な実践が見られるようになってきた。一方、英米医療界では、それぞれのアプローチに基づいて、既に原価計算

実施の長い歴史があり、両医療界における原価計算の展開を明らかにして日本医療界への示唆を得ることが求められている。本書では、英米医療界における原価計算実践の現状とそこに至るプロセス及び背景、

# メタボリックシンドロームについて

— 医学研究科 講師 絵本 正憲

『メタボリックシンドローム』、『最近よく聞かれる病名が、新しい病名で呼ばれている』

「メタボリックシンドローム」(以下「メタボ」と略)は、直訳すれば「代謝(異常)症候群」ということになりませんが、一般的には「内臓脂肪症候群」とも呼ばれています。1980年代後半以降、肥満、血糖値異常(境界型や糖尿病)、高血圧、脂質代謝異常(コレステロールや中性脂肪などの血液中の脂肪成分の異常)をあわせもつ、動脈硬化が促進され、心筋梗塞、脳卒中などの心血管疾患と呼ばれる重篤な病気を生じやすいことが知られていました。これらの考え方をまとめて、2001年に米国、WHO(世界保健機構)、わが国では2005年4月に「メタボ」の診断基準が発表され、現在いろいろな分野で注目されています。本年4月からは、「メタボ」の早期発見と心血管疾患の予防を目的として、40歳から74歳の方を対象に特定健診・保健指導が始まろうとしています。

HDLコレステロール(善玉コレステロール) 40 mg/dl未満、③血圧130/85 mmHg以上のいずれか2つ以上を満たす場合に診断されます。①と②の項目には、朝食後の空腹時採血した血液検査が必要です。この基準値は適応できません。

どれくらいの方が「メタボ」にあはれるのか?」

心血管疾患のリスクは?

2004年11月に実施された国民健康・栄養調査では、「メタボ」が強く疑われるのは940万人、予備軍は1020万人、特に、40歳から70歳の男性では、予備軍も含め約50%、女性では約20%と推計されています。最近の研究によると、「メタボ」の方は、心筋梗塞や脳卒中の発症リスクは2倍程度、糖尿病の発症リスクは2-3数倍程度と報告されています。

メタボリックシンドロームの診断が大切な理由

摂取カロリーが過剰や運動不足が続きますと、腹部内臓周辺の脂肪組織に過剰なエネルギー分として蓄積され、脂肪細胞が肥大化し、TNF-α(腫瘍組織壊死因子)などの動脈硬化促進物質は増加、逆にアデ

イネクチンなどの動脈硬化保護物質は減少する結果、血圧や血糖値、中性脂肪値などが上昇します。内臓脂肪は、40歳以降、特に蓄積しやすく、平均的には、男性では20歳代の3倍にも達します。腹部CTスキャンで臍高さの内臓脂肪面積を正確に定量評価することができますが、より簡便にチェックできるように、内臓脂肪面積の増加に比例するウエスト径が採用されています。このことから、ウエスト径の計測は、洋服サイズの測り方とは異なり、『立位で、軽く息をはいた状態での臍の高さ』でおこないます。

わく、健診で「メタボ」といわれたら? 『メタボ』にならないための注意

まず、血糖値、血圧、中性脂肪などの『異常の程度』が重要です。それぞれの異常が高度な場合、たとえ自分では体調がよいと感じていても、立派な(?! )『糖尿病』や『高血圧』であることも少なくありません。『医療機関を受診するべき』と判断された場合は、まず医師による診断を受け、それぞれ糖尿病や高血圧、高脂血症として治療を受けることが大切です。『生活習慣の改善を勧められた』場合は、積極的に栄養指導や運動習慣指導を受けた上で、食事療法と運動療法を実践することが大切です。①



医学研究科 代謝内分沁病態内科学 講師 絵本正憲



1990年10月9日の空撮写真。中央あたりが「シンボルゾーン」。



この3月に定年退職した職員が、屋上ランドスケープの説明用に残した手作りのパノラマ写真。夜景もある。



8階に今も眠るAGVたち。



8階の貴重書庫。事故・災害等で停電になっても湿度調整が可能のように、自然木で囲まれている。中央に見えるのが、マルクス『資本論』初版。

#### ■図書市民利用制度のご案内

学術情報総合センターでは、大学の教育・研究のために収集した資料を市民の方に利用していただく制度を設けています。

- ◆利用資格:20歳以上で、大阪市内に在住もしくは勤務の方(大学受験生、他大学の学生・教職員の方は除く)
- ◆登録手続:利用資格を確認できるものを持参のうえ、2階メインカウンターまで
- ◆登録料:2000円 ◆受付時間:月～金:9:00-21:30、土:10:00-16:30 ◆問合せ先:06-6605-3240(情報サービス部門)
- ◆詳しくはライブラリーサービスのホームページをご参照ください。



正面玄関の横に設けられたブックポストは、ダーウィンの「種の起源」を模しており、その表紙と目次が刻まれている。これは「人と自然の対話」をテーマとした前庭の設計コンセプトによるもので、センター

#### ヒロゾーの記憶

一九九六年三月末、予定どおり建物が竣工する。設備品等は前期中に配置されたが、図書の移転は夏期休業中に限られた。学生のため、前期試験終了時まで旧図書館が稼働していたからである。当時の蔵書約一四〇万冊をわずか二ヶ月で移転するという前代未聞の計画であったが無事完了し、一〇月七日、学術センターは開館の日をむかえる。一〇月一四日の開館式典を待たず、できるかぎり早期の利用開始をとの希望による仮オープンであった。



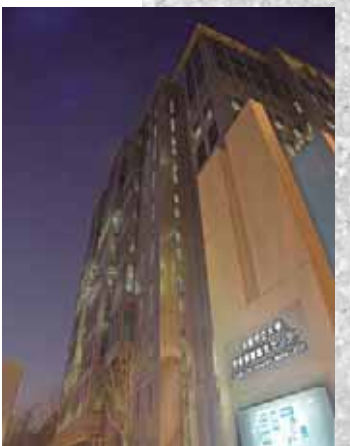
文・写真 / 文学研究科准教授 福島祥行

そして現在、開館から十二年目をむかえた学術センター自身も、すでにさまざまな記憶を刻んだ。五階南西角に存在したL1実験室は、二〇〇三年三月にその役目を終えている。広大な館内の集配架省力化のため、松下電器産業(株)と共同開発のAGV (Automatic Guided Vehicle 自動誘導車) ロボットにより話題を呼んだ無人搬送システムは、二〇〇四年に運用を停止した(そのうちの一台が、一階文化交流室前に展示されている)。年間入館者数四十五万人、年間利用冊数二十六万冊。人々は現在も日々記憶を生みだし、伝え、受けとっている。人々の情報記録装置(メモリー)たる書物の巨大な城である学術センターは、学びの城であり、また記憶の城でもあった。



屋上東部の円形広場から棟屋を望む。屋上に描かれた○にR(rescue)のマークは「緊急救助用スペース」——○にHの「緊急離発着場」と異なり、着陸はできない——の印であり、ヘリコプターのホバリング地点であることを示す。また広場の中央には、建物正面上部にある二重の輪のシンボルマークと同じものが刻まれている。

## 記憶の城——学術情報総合センター——



わずか十二秒ほどの強い揺れが世界を一変させた。一九九五年一月一七日午前五時四六分五十一・六秒、兵庫県南部地震発生。全壊および半壊棟数二四万九一八〇棟。六四三四名が亡くなり、その人々の持つ記憶もまた失われた。だが、記憶は受けつがれる。他の人々によって。また、さまざまなメディア(媒体)によっても。あのボルヘスが「本とは記憶の延長だ」(Borges Oran)と語ったように。

\*ホルヘ・ルイス・ボルヘス (Jorge Luis Borges, 1899-1986)。アルゼンチンの作家、詩人。かつてブエノスアイレス市立図書館で司書を務め、のちに国立図書館長も務めた。

#### シンボルゾーンの記憶

かつて理学部の南側に、風変わりな緑地帯があった。四季折々に花や黄葉で彩られ、藤棚の下では茶道部が野たてを催す。通称「シンボルゾーン」。元は瓦礫などのおかれた空き地を、職員が手を入れたつづけ、ついに庭園様に変貌させた土地であった。しかし、一九九三年六月一日、この空間に建設の鉄がはいる。学術情報総合センター(学術センター)の着工である。

ながらくの懸案であった附属図書館の将

#### 震災の記憶

着工約一年後の九四年七月には、骨組み工事が開始される。地下部は、地下一階から地下二階、三階、四階と下に向かう「逆打(さかうち)工法」がとられた。これにより工程は短縮され、躯体工事にはいるまでの。地震の記憶は、景観環境や自然にまつわる単語、この分野の研究者たちの名前の刻まれたプレートがあちこちに埋め込まれている。

#### これからの記憶

そして現在、開館から十二年目をむかえた学術センター自身も、すでにさまざまな記憶を刻んだ。五階南西角に存在したL1実験室は、二〇〇三年三月にその役目を終えている。広大な館内の集配架省力化のため、松下電器産業(株)と共同開発のAGV (Automatic Guided Vehicle 自動誘導車) ロボットにより話題を呼んだ無人搬送システムは、二〇〇四年に運用を停止した(そのうちの一台が、一階文化交流室前に展示されている)。年間入館者数四十五万人、年間利用冊数二十六万冊。人々は現在も日々記憶を生みだし、伝え、受けとっている。人々の情報記録装置(メモリー)たる書物の巨大な城である学術センターは、学びの城であり、また記憶の城でもあった。

入試担当者のヒトリゴト

本学の第二次試験は、いずれも難問・奇問を出題することはなく、高等学校で学ぶべき基本事項を徹底的に学習していれば解答できる問題となっています。全体的に記述式問題が多いので、それに慣れるよう普段から学習しておくことが望ましいでしょう。

もちろん受験する年によって合格に必要な点数は異なってきますが、まずは、安定して大学入試センター試験と第二次試験を合わせて7割程度（医学部医学科は別）の点数が取れるよう目標を設定して学習するのが良いと思います。

また同じ学部でも学科別に募集を行っているため、各教科の配点などが異なっています。自分が希望する学科の配点等に注意して受験勉強の計画を立てることや、自分の得意・不得意教科やセンター試験の結果を分析した上で出願することも大切でしょう。

(学生支援課入試担当)

募集要項配布について

学部の特別選抜、大学院入試の学生募集要項などを順次配付する予定です。

学生支援課入試担当の窓口で配付するほか、郵送でもご請求いただけます。

募集要項の種類によって、配付時期が異なります。

配布時期、請求方法など、詳しくは本学ホームページ

(<http://www.osaka-cu.ac.jp>) でご確認ください。

先輩からのメッセージ

工学部応用化学科3回生 川村 滉史

大学での勉強や生活について一言でいうと、「大変だけど、その分やりがいがある!」ということです。

理系の学部は実験等も多く、忙しくて大変というイメージかもしれませんが、自分の興味のあることや、やりたいことを見つけると苦にならないと思います。

また、忙しくてもクラブやアルバイトができないわけではありません。私は競技ダンス部に所属しています。大学には高校にはないようなさまざまなクラブやサークルがあるので、大学生になって新しいことにチャレンジしたい人には、クラブ・サークルに入ることもオススメです。サークルでは他の学部の友達や先輩、後輩とも仲良くなることができ、他大学も含めて多くの人と交流できます。

大学生生活、楽しいですよ!



Road to OCU

市大への道

番外編：市大からの道

大阪市立大学の就職支援が変わります!

一プロが行うプロのための就職支援

大阪市立大学は、開学以来、社会の第一線で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。この伝統を受け継ぐ就職支援方針は、単なる就職するための指導ではなく、就職後もプロフェッショナルとして社会の基幹となる人材育成に重点を置いています。

平成19年4月には、大学での学生指導と企業での採用・人材育成、両方のキャリアを併せ持つ就職担当課長を登用。支援体制の一層の充実を図っています。

近年、我が国の人事制度は、多様な人材を活用する方向にあり、「主体性」、「論理思考」、「コミュニケーション能力」、「問題解決能力」などの資質がより強く求められるようになりました。「ビジネス思考を培う指導」を標榜し学生の職業意識が「萌芽・醸成・高揚」と成長していくよう構成されています。



(高原記念館・学友ホールで行われた面接対策のようす)

Clubs

優雅に見えて、実は熱くてハードなんです

— 競技ダンス部

平成19年度 優秀な成績を収めた

クラブ・サークル等

大阪市立大学には、2000を越えるクラブ・サークルがあり、毎年各種の大会で活躍しています。平成19年度に報告のあったクラブ・サークルの主な成績(団体)は以下の通りです。

- 大阪市立大学語学部F・L・D DLF1(学生英語弁論大会) 優勝
- 弓道部 関西学生弓道連盟リーグ戦男子3部Aプロック優勝
- 競技ダンス部 全日本学生競技ダンス選手権大会8位入賞ほか
- サッカー部 関西学生サッカー春季リーグ戦3部Aプロック1位、2部昇格ほか
- 将棋部 関西地区代表決定戦 優勝 第38回全日本学生将棋団体戦5位
- 日本拳法部 全国公立大学日本拳法選手権大会7連覇達成ほか
- フォーミュラ部 第5回全日本学生フォーミュラ大会8位種目別(加速性能)2位
- ボート部 第18回関西学生秋季選手権 男子シングルスカル2位、3位
- 医学部女子バスケットボール部 近畿医療業バスケットボール大会 準優勝
- 医学部男子バスケットボール部 第59回西日本医科学生総合体育大会 準優勝ほか



練習風景。奥本先生(本学名誉教授)は部員にとって心強い存在。【写真上】



2007年の秋季関西学生競技ダンス選手権大会モダン戦終了後。

競技ダンス部は2007年度、西日本モダン戦で団体戦総合優勝、冬季全日本選抜学生競技ダンス選手権大会で団体総合8位に入るなど、素晴らしい成績を残したクラブの一つです。現在は40名の部員が所属しており、2回生以上の部員はモダン科とラテン科にわかれて競技会に参加しています。練習日は毎週水曜日と土曜日。意外に少ないな、と思ったのもつかの間、主将の植月洋平さん(工学部4回生)によると「週2日の練習日以外にも、多くの部員がほぼ毎日練習場所に来て踊っています」とのこと。練習場には、毎日部員の熱気が満ちています。

大学からダンスを始める部員がほとんどの上、「実は入部するまではダンスにあまり興味がなかった」という部員も多い競技ダンス部。そんな部員たちが毎日自主的に練習するようになるほど、ダンスにのめり込んでいく理由は何でしょうか。「ビデオで自分の昔と今のダンスを比べると、確実に上達しているのがわかります。練習しただけ、成長を実感できることが嬉しいです」「市大だけでなく、他大学でも大学からダンスを始める人が多く、練習量で試合結果が決まるのも楽しい。反面、負けると本当に悔しいですが、だからこそ練習します。激しい動きをするので怪我をすることもありますが、ほとんどの部員が整骨院通いですが、」と、植月さんはダンスの魅力について語ってくれました。

会話の中から、優雅に見えて、実は「熱くてハード」なダンスの世界が垣間見えます。それはパートナー同士の間も同じ。2人の息がかみ合わないダンス中にバランスを崩して転倒してしまうこともあり、2人の信頼関係、意思疎通がダンスにはとても重要です。より美しく踊るために、練習中に2人の意見が衝突することもありますが、実際、喧嘩をしないペアは皆無に近いのだとか。優雅なダンスの裏側で、激しい意見の衝突があるなんて、意外でした。「言いたいことを言い合い、衝突しながらも2人で力を合わせて試合に向けて練習します。もちろんいがかみ合うような関係ではなく、喧嘩した分、試合でいい結果が出たときには、心から喜び合えることができる関係。パートナーは特別な存在ですね」

怪我や喧嘩を乗り越えながら、かけがえない仲間とともに、ダンスに打ち込む部員たち。今後も、競技ダンス部のさらなる活躍にご期待ください。

このように本学の文学部は、古今東西、多方面の学問をカバーしています。では、これら多様な学問の共通点は何でしょう。それは、「人間」と、人間が生み出した「文化」——文学・言語も人間が生み出した文化の一つですね——と、人間によって成り立っている「社会」を、基礎から理解しようとする点にあります。

「基礎」から理解するとは、次のようなことを意味しています。人間にとって幸福とはどのような状態のことなのか、人間にとって意味のある文化とはどのような文化なのか、そして人間にとって生きるに値する社会とはどのような社会なのか——これら万人にとって人生の根底にある問いを追究するという意味です。



四年間で文学部のすべての学問をマスターすることは無理です。どれかを選んで学んでいただくわけですが、どれかを選ぶにしても、右の問いをつねに心に置きながら、本を読み、過去の史料を探し、現実を観察し、そして先生や友人と語り合います。これが文学部の学び方です。

現代は、私たちが大きな力で押し流そうとする激流にたどるることができるでしょうか。そして、私たちの人生は激流に浮かぶ

**都市で学び 夢をつかむ**

**大阪市立大学**  
OSAKA CITY UNIVERSITY

■杉本キャンパス(商・経・法・文・理・工・生活科 各学部・大学院各研究科、本部)  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

■阿倍野キャンパス(医学部・大学院医学研究科・大学院看護学研究科、医学部附属病院)  
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

■梅田サテライト(大学院創造都市研究科、文化交流センター)  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

●大阪市立大学ホームページ <http://www.osaka-cu.ac.jp>

2008年4月

■ご意見・ご感想募集  
本誌へのご意見・ご感想を募集しています。はがきに(1)氏名(2)住所(3)電話番号(4)年齢(5)職業(6)一番おもしろかったコーナー(7)今後どのような記事が読みたいかを明記のうえ、下記までお送りください。抽選で毎月5名様に市大グッズをプレゼントします。

〈宛先〉  
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
大阪市立大学法人運営本部総務課 広報担当宛

■発行  
公立大学法人 大阪市立大学  
法人運営本部 総務課  
〒558-8585  
大阪市住吉区杉本3-3-138  
TEL 06-6605-2011  
FAX 06-6692-1295  
MAIL koho2007@osaka-cu.ac.jp

The Office of Dean

文学部への学び方

文学部長 谷 富夫

昨年のオープンキャンパスに参加してくれた高校生が、「文学部には思っていたよりも多くの学問があることを知れて良かった」という感想を述べていました。この感想を聞いて思ったことは、もしかしたら市民の皆さんも文学部がどんな学問をするところか、あまりご存知ないのかもしれないなということです。もっと情報発信に力を入れなくては、と気づかされました。

文学部では、文字通り文学と言語が必要不可欠で、大切な学問であることは言うまでもありません。国文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学などです。しかしそれ以外にも、哲学、日本史、東洋史、西洋史、社会学、心理学、教育学、地理学も学ぶことができます。また、欧米の言語を基礎とする「言語情報」や「表現文化」といった学問もあります。

このように本学の文学部は、古今東西、多方面の学問をカバーしています。では、これら多様な学問の共通点は何でしょう。それは、「人間」と、人間が生み出した「文化」——文学・言語も人間が生み出した文化の一つですね——と、人間によって成り立っている「社会」を、基礎から理解しようとする点にあります。

お知らせ

公開講座・イベント情報

申込方法など、詳しくは担当までお問い合わせください。  
特に記載がない場合、受講料は無料ですが、テキスト代実費負担の場合があります。申し込み多数の場合は抽選となります。

- ◆第122回市民医学講座  
「慢性疲労とうつ」  
【講演者】医学研究科講師 松井徳造  
【開催日】平成20年5月16日(金)  
【時間】18時10分～20時  
【対象】18歳以上の方  
【申込締切】平成20年4月25日(金)  
【会場】医学部医学情報センター  
【お問い合わせ先】医学部医学情報センター  
(電話) 06・66645・2742

- ◆文化交流センター センター企画講座  
5月《サミット財務大臣会議連携講座》  
6月に大阪で開催されるサミット財務大臣会議に先駆け、金融と環境をテーマに本学教員が解説します。  
受講料500円(テキスト代含む)を当日徴収いたします。  
【開催日】①5/10②5/17③5/19④5/21⑤5/23⑥5/27  
【時間】①②14時30分～16時③④18時30分～20時⑤16時30分～18時⑥13時30分(前半は店内見学)～15時55分  
【対象】16歳以上の方  
【申込締切】4月21日(月)

お知らせ

- ◆「文学部を知りたい人のための市大授業」(文学部)  
◆「数学や理科の好きな高校生のための市大授業」(理学部)  
【開催日】4月29日(火・祝)  
【時間】13時～16時30分  
【対象】高校生、予備校生等  
【会場】大阪市立大学全学共通教育棟  
【お問い合わせ先】  
理学部 06・66605・23500  
文学部 06・66605・25001  
申込方法等は文学部、理学部で異なります。詳細は各学部のホームページをご覧ください。  
文学部 <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/>  
lit/prospects/kd.html  
理学部 <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/koudai/koudai.html>

- ◆ポータ祭  
市立大学恒例の行事を今年も開催します！ポータ競技には市民が参加できる「市民の部」(5人チームとし、参加費は1万円)があり、競技参加者を募集します。ポータ祭開催中は、学生による演奏等各種パフォーマンスが行われ、競技参加者はもちろん見物の方々にも楽しんでいただけます。見物料は無料。自由にお越し下さい。  
【開催日】平成20年5月24日(土)・25日(日)  
【時間】9時～17時  
【対象】「市民の部」競技参加：市内在住・在勤の方  
※見物料はご自分で可能です。  
【申込締切】先着順で、50チームに達し次第

- ◆野村證券株式会社と包括提携協定を締結しました  
大阪市立大学と野村證券株式会社は、大学の教育、研究、地域貢献等の諸活動を推進し、もって大学の発展に資するために包括的に提携しました。
- ◆理事長兼学長、副学長および4役、研究科長、附属病院長が決定しました  
理事長兼学長、副学長等4役、一部研究科長・学部長、附属病院長を新たに選出しました。
- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 理事長兼学長          | 金児 曉嗣 |
| 副学長(教育担当)       | 中村 圭爾 |
| 副学長(研究担当)       | 唐沢 力  |
| 経営学研究科長・商学部長    | 西倉 高明 |
| 経済学研究科長・経済学部長   | 海老塚 明 |
| 法学研究科長・法学部長     | 高田 昌宏 |
| 文学研究科長・文学部長     | 谷 富夫  |
| 理学研究科長・理学部長     | ※改選なし |
| 工学研究科長・工学部長     | 今吉 洋一 |
| 医学研究科長・医学部長     | 濱 裕光  |
| 看護学研究科長・看護学部長   | ※改選なし |
| 西沢 良記           |       |
| 生活科学研究科長・生活科学部長 | 白田久美子 |
| 創造都市研究科長        | 小西洋太郎 |
| 学術情報総合センター所長    | 明石 芳彦 |
| 学生担当部長          | ※改選なし |
| 教務担当部長          | 中野 秀男 |
| 文化交流センター所長      | 大黒 俊二 |
| 医学部附属病院長        | 鈴木洋太郎 |
|                 | 谷 直樹  |
|                 | 原 充弘  |



写真はイメージです。

◆卒業式を行いました  
平成20年3月24日、大阪城ホールにて平成19年度 大阪市立大学 学部卒業式・大学院修了式を行いました。

◆本学教員の著書が日経・経済図書文化賞を受賞  
経営学研究科・石川博行准教授の著書『配当政策の実証分析』(中央経済社、2007年5月)が第50回日経・経済図書文化賞を受賞しました。

◆「大学院教育改革支援プログラム」の採択  
文部科学省では、平成19年度より、大学院博士課程、修士課程を対象に、優れた組織的・体系的な教育取組に対して「大学院教育改革支援プログラム」として重点的な支援を行っています。本学からは2つのプログラムが採択されました。

- 文学研究科「国際発信力育成インターナショナルスクール」
- 生活科学研究科「地域ケアを担うP.A.D.臨床栄養士の養成・病院と地域をつなぐ管理栄養士のエキスパート教育プログラム」